

盛岡市におけるNPOと自治体との協働に関する調査

平成 18 年 12 月

このアンケートは、盛岡市の平成 18 年度公募型協働推進事業「協働環境育成事業」の一環として、盛岡市内のNPOと盛岡市各課との協働について調査するために、盛岡市のNPOと各課、それぞれに対して、盛岡市市民活動推進課と特定非営利活動法人アイディングが協働で実施するものです。

盛岡市では、厳しい行財政の中、様々な地域の課題に取り組むために「市民協働のまちづくり」を進めていますが、どんどん新しいNPOが設立されていく状況の中で、NPOについての個別情報も少なく、十分に協働が進んでいるとはいえない状況だと思われます。

そこで、この調査では、NPOの行政との協働への認識や取り組み状況を調査することにより、今後の協働の推進への取り組みの検討材料とさせて頂く予定であり、アンケートの結果は、公表することを予定しております。また、皆様からのご回答は、統計処理し、本アンケートの目的以外に使用することはありません。

ご多忙のところ、お手を煩わせて恐縮ですが、趣旨をご理解の上、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

盛岡市市民活動推進課
特定非営利活動法人アイディング

1 本調査について

(1) 目的

盛岡市におけるNPOと盛岡市各課の協働への認識や取り組み状況を把握し、今後、協働を推進するための検討材料とする。

(2) 調査方法

盛岡市 全課に調査用紙を配布し、市民活動推進課で調査用紙を回収する。

NPO 市内に事務所を持つNPO法人・任意団体に郵送で調査用紙を配布し、郵送で調査用紙を返送して頂く。

(3) 調査期間 平成 18 年 12 月 4 日 (月) ~ 12 月 20 日 (水) 消印有効

(4) 調査対象 盛岡市の全課、ならびに、盛岡市内に事務所を持つNPO

2 提出方法

12 月 20 日 (消印有効) までに、同封の封筒でご返信頂くか、FAXか電子メールで、アイディングまで御返送ください。

※この調査表のデータは、<http://www.iding.org/kyodo/> よりダウンロードしていただけます。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人アイディング

〒020-0861 盛岡市仙北 2 丁目 4-12 サンライフ盛岡内

TEL 019-635-1200 FAX 019-635-9601

E-mail info@iding.org 担当：甲山 (こうざん)・清見 (きよみ)

盛岡市市民部市民活動推進課

TEL 019-651-4111 (内線 2117・2118) 担当：工藤・吉田

＜調査表＞

団 体 名	
電話番号	
活動分野	
御記入者 職・氏名	

問1 協働について、あてはまるものを下記からお選びください。

- 1 協働という言葉は聞いたことがない
- 2 協働という言葉は聞いたことはある
- 3 協働の定義と意義は知っている
- 4 行政や他のNPOと協働をしてみたいと思っている
- 5 行政や企業、他のNPOと協働の経験がある

※ 共同：複数の人や団体が、同じ目的のために一緒に事を行うこと。一緒にやることに意義がある。
 協同：複数の人や団体が、力を合わせて物事を行うこと。他者との関係を補助する互換的關係を強調。
 例えば、有機野菜の協同購入など。
 協働：複数の人や団体が、同じ目的のために協力して働くこと。異なるものがそれぞれの経験・ノウハウ・人材などを活かしながら新しいものを生み出す関係。

問2 現在の盛岡市における市民の意識は、どのような状況だと感じていますか？

- 1 盛岡市やNPOが参加や協働を依頼しても参加する市民はほとんどいない(公共の問題は全て行政が担うべきだという意識が強い)。
- 2 市民の自発性は低いものの、盛岡市やNPOからの依頼があれば参加してくれる市民が存在する。
- 3 市からの依頼がなくても、市民が自発的に公共の問題に取り組む意思があり、活動を始めている。
- 4 市のサービス事業のいくつかが既に市民活動に移行し、今後、公共サービスは市民活動が担うという将来の状況を前提にした体制に向かいつつある。
- 5 その他(具体的に： _____)

問3 あなたの団体では、盛岡市との協働事業を実施していますか？下記から一つお選びください。

- 1 現在、実施している
- 2 現在は実施していないが、過去に実施していた
- 3 実施していない
 1または2を選んだ方 ⇒ 問5以降へお進みください。
 3を選んだ方 ⇒ 問4へお進みください。

問4 現在、盛岡市との協働事業を実施していないのはなぜですか？〔複数回答可〕

- 1 盛岡市との協働の必要性を感じない
- 2 協働を始めるきっかけがない
- 3 協働についてどこに相談・提案したらいいかわからない
- 4 団体の活動目的にあう事業がない
- 5 企画コンペで採択されなかった
- 6 手続きが面倒だから
- 7 よくわからないから
- 8 その他(具体的に： _____)

⇒ 3ページの問10以降へお進みください。

問5 盛岡市との協働事業を始めたきっかけはどのようなことでしたか？〔複数回答可〕

- 1 盛岡市から協力を要請された
- 2 盛岡市が実施した企画提案の公募に参加した
- 3 自分達の団体から盛岡市に事業提案をした
- 4 自分達の団体と盛岡市が協力して企画した
- 5 その他（具体的に： _____)

問6 あなたの団体が実施した協働事業は下記のどれに該当しますか？〔複数回答可〕

- 1 盛岡市の主催した事業への企画や立案への参加・協力
- 2 盛岡市の主催した事業への協力や参加（ボランティア派遣など）
- 3 盛岡市との事業の共催
- 4 盛岡市との情報交換や意見交換等
- 5 盛岡市からの事業の受託

具体的には？〔複数回答可〕

- 1 イベントの実施 2 自治体の施設の運営 3 専門的な相談事業
- 4 介護・家事援助などのサービス提供 5 調査研究 6 情報誌・刊行物の作成
- 7 その他（具体的に： _____)

- 6 盛岡市からの物の提供・支援
- 7 盛岡市からの活動の場の提供・支援
- 8 盛岡市からの人員派遣や労力提供
- 9 盛岡市からの資金援助

具体的には？〔複数回答可〕

- 1 補助金・助成金 2 事業委託費 3 負担金 4 費用の支出はない
- 4 その他（具体的に： _____)

費用総額 _____ 円

- 10 主催事業に対する盛岡市の後援名義の使用
- 11 その他（具体的に： _____)

問7 あなたの団体が協働事業のパートナーとして選択された理由は何だと思えますか？

下記から3つお選びください。

- 1 法人格を取得しているから
- 2 団体の運営に関して安定性があるから
- 3 活動内容に社会性や公益性があるから
- 4 活動内容が創造的・独創的であるから
- 5 協働の実績があるから
- 6 専門知識やノウハウを蓄積しているから
- 7 事業を担う人材に信頼性があるから
- 8 NPO間のネットワークを持っているから
- 9 団体に関する情報が市民に対して開かれているから
- 10 その他（具体的に： _____)

問 8 あなたの団体が盛岡市と協働事業を実施したことで、事業目的を達成する以外に、得られた成果はなん
だと思いますか？下記から3つお選びください。

- 1 地域やサービスの受け手からの信頼度が上がった
- 2 活動を実施する資源(資金・人材・情報)が得られた
- 3 組織運営力(マネジメント能力)が向上した
- 4 事業実績が得られた
- 5 行政への対応方法が身に付いた
- 6 特にない
- 7 その他(具体的に：)

問 9 これまであなたの団体が協働事業を進めてきた際の問題点や課題は何でしたか？

- 1 市職員のNPOに対する理解不足
- 2 市職員の協働に対する理解不足
- 3 NPO側の企画・運営力の不足
- 4 NPO側の事務能力の不足
- 5 役割分担が不明確なこと
- 6 責任の所在が不明確なこと
- 7 公平性確保に対する不安
- 8 その他(具体的に：)

問 10 あなたの団体では、今後、盛岡市との協働事業についてどのようにお考えですか？

- 1 必要性を感じており実施していく
- 2 必要性は感じるが実施するうえでの課題がある
- 3 必要性を感じない
- 4 わからない

問 11 問 10 の答えの理由を具体的に教えてください。

問 12 今後、協働を進めていく上で、盛岡市に求めることは何ですか？下記から3つお選びください。

- 1 職員のNPOへの理解を深めること
- 2 職員の協働に対する意識改革をすすめること
- 2 NPOと対等なパートナーシップを築くこと
- 4 ニーズや課題を住民やNPOと共有すること
- 3 協働事業を行う目的を明確にすること
- 4 庁内での横断的連携を進めること
- 5 施策や制度に関する情報について積極的に公開すること
- 6 補助金や事業委託に関する制度を見直すこと
- 7 協働事業に関する窓口を設けること
- 8 協働事業を進めるための手続きを決めること
- 9 協働事業に対する評価方法を決めること
- 10 その他(具体的に：)

問 13 今後、盛岡市との協働事業に取り組むとしたら、あなたの団体の課題は何だと思えますか？

下記から3つお選びください。

- 1 企画提案力の向上
- 2 人材の発掘・育成
- 3 専門知識やノウハウの蓄積
- 4 事務能力の向上
- 5 団体の組織運営能力の蓄積
- 6 団体に関する情報公開を進めること
- 7 行政の制度やルールなどを理解すること
- 8 NPO間のネットワークの形成
- 9 NPO以外の団体との連携意識の向上
- 10 その他（具体的に： _____)

問 14 あなたの団体で、今後、協働について具体的な計画やお考えがありましたらお書きください。

《最後に》

今後、この協働環境育成事業では「雇用の創出」「少子化対策」「ゴミの減量」について、担当課とNPOでのワークショップを予定しております。上記のテーマに関連のある団体の方は、下記の質問にお答えください。

問 15 あなたの団体の活動に関連するテーマを下記からお選びください〔複数回答可〕

- 1 雇用の創出 2 少子化対策 3 ゴミの減量

問 16 あなたの団体では、問 15 で選んだテーマについて、行政と協働する意向はありますか？

- 1 積極的に協働したい 2 機会があれば協働したい 3 当面、協働の予定はない

問 17 あなたの団体では、問 15 で選んだテーマについてのワークショップに興味をお持ちですか？

- 1 興味があり、参加を検討したい
- 2 興味はあまりないが、お願いされれば参加を検討する
- 3 出来れば参加したくない
- 4 参加したくない **1 または 2 を選んだ方 → 問 19 へお進みください。**

問 18 問 21 で「出来れば参加したくない」「参加したくない」お答えになった理由を教えてください。

問 19 今後、開催する盛岡市各課とのワークショップについて、御意見・御要望があれば、御記入ください。

御協力ありがとうございました